

ハイブリッドレーザーカッターの使い方ガイド

■加工の仕様

加工可能なもの

高速・高精度・広いワークエリアが特徴。さまざまな材料の切断と彫刻ができます。プレビューカメラで加工材料とカットデータの位置合わせを簡単に行うことができるほか、加工高さを自動で設定できます。

切断材料：アクリル樹脂、木材、紙
加工材料の厚さ10mmまで

彫刻材料：上記に加えて金属

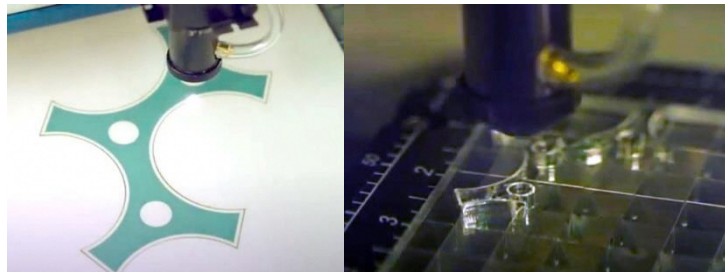
以下のものは加工することができません。

燃えやすいもの、臭いが強いもの、ガスが発生するもの（塩ビ）など。

加工実例のない材料はメーカーに問い合わせた後、加工の可否を判断します。



■加工手順と加工時間の目安



- ① データの読み込み
- ② 加工線の太さ（極細線）を設定
- ③ 加工材料を配置
- ④ 加工原点と高さを設定
- ⑤ 材料の種類と厚さに応じた加工設定（速度と出力）をメニューから選択
- ⑥ エアブロー、集塵脱臭機をオン
- ⑦ 加工スタート

加工仕様

【ワークエリア】 914×610mm、加工材料の収納高さ228mm
加工可能な材料厚さ10mm

【レーザー出力】 Co2レーザー：80W / Fiberレーザー：50W

【ソフトウェア】 CorelDRAW Graphics Suite

【データ形式】 切断 / Adobe Illustrator（拡張子 AI）、DXF、SVG
彫刻 / JPEG、PNGなどの画像形式



左上_アクリル彫刻 2分 右上_紙切断 20秒
左下_アクリル切断 1分 右下_木材彫刻 3分